

Press Release

報道関係者各位



平成 27 年 9 月 28 日 (月)
アーツカウンシル東京
(公益財団法人東京都歴史文化財団)



神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2015 開催のお知らせ

まち全体を舞台に、日本の様々な伝統芸能を神楽坂から未来に向けて発信！

伝統と先端が融合する神楽坂で、まち全体を舞台に開催する「**神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2015**」を、平成 27 年 11 月 14 日 (土) <前夜祭>、15 日 (日) <本祭>に開催します。このイベントは今年で 3 回目となりアーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団) が主催し、神楽坂の地元住民の方々と共に実施するものです。日本を代表する様々な伝統芸能を、世代を超えて多くの方にわかりやすく楽しくご紹介するとともに、昨年の第 2 回は海外からの観光客を含め、約 4 万人が来場し、神楽坂の魅力に触れていただく「まちと人が一体になった祭」として注目されつつあります。

神楽坂は、江戸・東京の文化とパリの洗練された雰囲気が調和・融合しているまちとして幅広い世代に人気です。イベントでは、神楽坂を支えてきた地元の方々の協力のもと、若手からベテランまで、神楽坂に縁 (ゆかり) の深い伝統芸能の第一線で活躍する様々なジャンルのアーティストが集結。路地を歩きながら演奏する「新内流し」や芸妓さんのお座敷遊びなど、神楽坂らしい企画を盛りだくさんにご用意します。

生活に伝統文化の息づくまち・神楽坂から、日本の伝統芸能と繋がることのできる祝祭の二日間。普段伝統芸能に馴染みのない方々から若い世代、そして外国の方々まで気軽に楽しめます。ぜひ貴媒体にてご紹介いただければ幸いです。

【開催概要】 ※次頁以降の詳細もぜひご参照ください。

タイトル:「神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2015」

開催日時: 前夜祭 平成 27 (2015) 年 11 月 14 日 (土) 15:00~21:30

本祭 平成 27 (2015) 年 11 月 15 日 (日) 11:00~17:00 * 両日共に雨天決行・荒天中止

実施会場: 神楽坂エリア一帯 (毘沙門天善國寺、赤城神社、東京神楽坂組合・見番、神楽坂通りエリア内路上、歴史的名所旧跡等)

参加形式: 無料 (「見番」公演のみ有料・要事前申込)

主催: アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成・協力: 東京都

後援: 新宿区、一般社団法人 新宿観光振興協会

協力: 東京神楽坂組合、毘沙門天善國寺、赤城神社、株式会社粋まち、神楽坂通り商店会、神楽坂商店街振興組合、江戸東京ガイドの会、東京都消費生活総合センター、NPO 法人粋なまちづくり倶楽部、あずさ監査法人、第一勧業信用組合 (神楽坂支店)、日本出版クラブ

お問い合わせ: 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2015 事務局 (古典空間内) 担当: 小野木、古崎、佐藤

TEL: 03-5478-8265 (平日 10~18 時) / FAX: 03-5478-8267 / メール: contact@kaguramachi.jp

公式ホームページ: <http://kaguramachi.jp/>

※新宿フィールドミュージアム参加企画 

<取材に関するお問い合わせ>

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり 2015 事務局 (古典空間内) 担当: 小野木、^{おぎの} 荻布、深澤
TEL: 03-5478-8255 FAX: 03-5478-8267 E-Mail: pr@kaguramachi.jp

<本リリースに関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報: 森 (隆)、浅野
TEL: 03-6256-8432 E-mail: press@artscouncil-tokyo.jp

【実施内容】

+++++

-INDEX-

1.前夜祭-Eve-

- 店めぐり・古典芸能ライブ
- 神楽坂路上界限①「新内流し」※本祭でも実施
- 神楽坂路上界限②「城端^{じょうはなひきやま}曳山祭<庵^{いおりうた}唄>」※本祭でも実施

2.本祭-Main Festival-

- 神楽坂楽座～講釈場
- 神楽坂芸能めぐり 街角ライブ
- 覗いてみようお座敷遊び
- 赤城神社夕暮れライブ
- 神楽坂タイムスリップ (スタンプラリー／歴史ガイド)

+++++

1. 前夜祭 -Eve-

多くの味わい深い文化を生み出した「神楽坂の夜」も神楽坂の魅力の一つです。

石畳や黒塀なども風情を増す時間帯に、路地をそぞろ歩き、洒落たお店で味わう伝統芸能・・・夜ゆえに味わえる神楽坂の魅力を盛り込んだ企画です。

店めぐり・古典芸能ライブ

神楽坂ゆかりの古典芸能演者が洒落たお店で行うミニライブ。お店の雰囲気に入りつつ味わう演奏と粋なお話・・・多くの味わい深い文化を生み出した「神楽坂の夜」ならではの魅力を楽しめます。

日 時) 平成 27 年 11 月 14 日 (土) 15:00～21:30 *雨天決行

場 所) 神楽坂内の飲食店 4 店 (レストラン、パブ、その他)

出 演) 鳥羽屋里夕社中 (長唄)、岡村慎太郎 (地歌)

春日とよ徳花社中 (小唄)、シジル・コピーニ (フランス人落語パフォーマンス) 他

参加料) 鑑賞は無料 (飲食も可)

神楽坂路上界限

石畳や黒塀なども風情を増す時間帯に、路地をそぞろ歩くと出逢う「流しの芸能」・・・夜ゆえに味わえる神楽坂の魅力を体感できます。街中を歩きながら演奏するお馴染みの「新内流し」。そして、300年の伝統を誇る城端曳山祭 (富山県南砺市) で傳承され、江戸端唄の流れをくむ城端独特の「庵唄」が神楽坂の夜を彩ります。前夜祭・本祭の両日実施します。



①「新内流し」

日時) 平成 27 年 11 月 14 日 (土) 17:00 頃～、
15 日 (日) 13:00 頃～

場所) 神楽坂界限

出演) 神楽坂在住、新内の人間国宝・鶴賀若狭掾一門
(鶴賀伊勢一郎、鶴賀伊勢吉、鶴賀伊勢幸)



②「城端^{じょうはなひきやま}曳山祭<庵^{いおりうた}唄>」

日時) 平成 27 年 11 月 14 日 (土) 17:00 頃～、
15 日 (日) 13:00 頃～

場所) 神楽坂界限

出演) 城端庵唄・宝槌会^{ほうてつかい}

ほんまつり

2. 本 祭 -Main Festival-

毘沙門天善國寺境内の「楽座」では江戸時代の講釈場を再現し、講談などの語り芸を披露。神楽坂のメインストリートにおける路上パフォーマンス、見番における芸者衆の踊りとお座敷遊び、情緒溢れる散歩が楽しめるスタンプラリー、数々の大道芸に遭遇するタイムスリップ、そして赤城神社神楽殿で古典芸能を味わう夕暮れライブまで、街中で日本文化の魅力をたっぷりと楽しめます。

神楽坂楽座～講釈場

その昔、人々が集う神社仏閣の境内に設けられた講釈場からは、様々な情報が発信されました。今回は毘沙門天善國寺境内に設けるステージを講釈場に見立て、若手講釈師が神楽坂の歴史にちなんだ講談を口演するほか、琵琶語り、浄瑠璃（義太夫節、新内節）などの語り芸が神楽坂の魅力を賑やかに彩ります。伝統芸能の初心者の皆様にも、わかりやすい言葉でお楽しみいただけます。

日 時) 平成 27 年 11 月 15 日 (日) 12:00～16:30 頃

場 所) 毘沙門天善國寺境内特設ステージ

参加料) 無料

出 演) 神田山緑 (講談)

神田きらり (講談)

後藤幸浩、水島結子 (琵琶デュオ)

竹本京之助、鶴澤賀寿 (義太夫節)

鶴賀伊勢吉、鶴賀伊勢幸 (新内節)



(昨年の様子)

神楽坂芸能めぐり 街角ライブ

神楽坂路上界限 3 か所にライブスポットが出現。神楽坂通りのどこにいても、ちょっと足を止めれば様々な伝統芸能のパフォーマンスが楽しめます。伝統とモダンが融合したユニットから、江戸の粋を今に伝える実演家まで、幅広い年代の方々にお楽しみいただけます。

日 時) 平成 27 年 11 月 15 日 (日) 12:30～16:30

場 所) 神楽坂界限 「志満金」前、「山下漆器店」前、パークリユクス神楽坂前ポケットパークの3か所

参加料) 無料

出 演) セ三味ストリート (津軽三味線パフォーマンス)

小山 豊 (津軽三味線) + 大多和正樹 (和太鼓)

山田路子 (笛) + 尾上秀樹 (中棹三味線) + 田中黎山 (尺八)

中村さんち (雅楽)

木場大輔 (胡弓)

シェン響盟 (尺八) + たしまみちを (ギター)

+ 栗山豊二 (パーカッション)

マクイーン時田深山 (箏) + 吉峰勇二郎 (コントラバス)

上条 充 (江戸糸あやつり人形)

丸一仙翁社中 (江戸太神楽)



(昨年の様子)



(昨年の様子)

覗いてみようお座敷遊び

日本固有のおもてなしの一つに、宴席での芸妓さんのお座敷遊びがあります。神楽坂芸者衆による唄や三味線、そして踊りを鑑賞した後、お客さんも一緒に、“お座敷ゲーム”体験。会場は花柳界の玄関口「見番」。普段は入れない芸者衆のお稽古場です。外国の方にもわかりやすく気軽に楽しんでいただけます。

日 時) 平成 27 年 11 月 15 日 (日)

13:00~14:00、14:30~15:30 の 2 回公演

(内容は各回同じ)

場 所) 東京神楽坂組合・見番

出 演) 神楽坂芸者衆

立方：万里、千佳、英子

地方：眞由美 (唄)、あやめ・櫻子 (三味線)、由みゑ (鳴物)

参加料) 有料 2,500 円

※要事前申込 (1 回 40 名×2 回 計 80 名)

※当日英語パンフレット配布、英語逐次通訳あり

※チケット取扱は Confetti (カンフェティ) <http://www.confetti-web.com/> より、

10 月 1 日 (木) 10:00~発売開始

TEL:0120-240-540 (フリーダイヤル、受付時間は平日 10:00~18:00 *オペレーター対応)



〈昨年の様子〉

赤城神社夕暮れライブ

地元の人々に愛され、神楽坂を代表するスポットとしても知られる赤城神社。そのモダンな神楽殿にて雅楽や長唄等、古典的色彩の濃い音楽ジャンルが趣のあるライブを展開。またフィナーレとして、他スポットに出演したアーティスト達も集合し、来場者・スタッフが一体となって祭りを厳かに締めくくります。

日 時) 平成 27 年 11 月 15 日 (日) 15:30~17:00 頃

場 所) 赤城神社 神楽殿

参加料) 無料

出 演) 中村さんち (雅楽)

木場大輔 (胡弓)、喜羽美帆 (箏)

芳村伊十治郎連中 (長唄三味線、邦楽囃子)

神楽坂タイムスリップ (スタンプラリー／歴史ガイド)

江戸時代から明治・大正時代の名所旧跡7か所を巡るスタンプラリー。各スポットでは「案内人」による歴史ガイドもあります。昔、辻々を彩った「大道芸」に出会えるスポットもあり、歴史舞台へのタイムスリップをお楽しみいただけます。スタンプを6つ以上集めた方にはオリジナル手拭いを贈呈。(数に限りがございます。)

日 時) 平成27年11月15日 (日) 11:00～16:00

(景品交換は16:30まで)

場 所) 神楽坂界限 7か所のスタンプポイント

参加料) 無料 (各ポイントでスタンプシート付き地図を配付)

出 演) 日本大道芸・大道芸の会

(地獄極楽 絵解き、南京玉すだれ 他)

協 力) 江戸東京ガイドの会、光照寺、圓福寺 他

※英語版マップ、および各ポイントでの英語通訳対応あり



〈昨年の様子〉

【神楽坂の魅力】

神楽坂は、江戸時代からの切絵図と平成の地図が、その地割りにおいてはほぼ重なるまちです。再開発などで多くの東京のまちが変貌した中であって、神楽坂は江戸時代からの道を今も辿ることができる不思議な都市空間が残されています。

通りの中心には毘沙門天があり、坂と路地が複雑に入り組んだ地域には、花柳界が繁栄してきました。芸事を重んじる花柳界の周辺には、歌舞音曲を教える師匠たちが稽古場をもち、伝統芸能が大いに発展してきました。

また明治・大正時代から文学や演劇との関わり合いも深いまちです。神楽坂ゆかりの作家といえば、尾崎紅葉、夏目漱石、泉鏡花など。新劇の世界では島村抱月と松井須磨子の芸術座のあった地としても知られています。

こうした文化人が多く住んだ神楽坂は、商業の分野でも数多くの名店を残しています。三代目、四代目がのれんを継いでいる老舗が今日も営業しています。

さらに神楽坂は、外国の方にとっても住みやすいまちとして、戦後からフランス人が多く移り住み、昔ながらの面影を残す路地に、フランス文化が独特の風情をつくり出しています。

ここ十数年は、神楽坂のこうした魅力が再発見されて、まちづくりのNPOやボランティアの若い人々も加わって、数多くの文化イベントが企画開催されています。東京の真ん中に位置し、特別なコミュニティを形成しつつある神楽坂は、いまや国内にとどまらず、海外からも大きな注目を集めています。

■取材に関するお問合せ先

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2015事務局 (古典空間内) 担当: 小野木、^{おぎの}荻布、深澤

TEL: 03-5478-8255 FAX: 03-5478-8267

E-Mail: pr@kaguramachi.jp